

小説・評論文の例

① 観点を定めて分析する

小説の観点

例

赤字は効果

表現技法	比喩が多く印象的に伝わる。
人物の設定	〇〇という人物がいることで、主人公の性格がより強調される。
場面や構成	回想の挿入により、当時と今の二つの視点で描ける。
文体の特徴	短い文の連続で緊張感が伝わる。
語り手	一人称の視点により、視点人物の心情を細やかに描く。
設定	

② 作品の価値を論じる

分析したことを根拠として、作品の価値(よさ、魅力)を論じる。

人物像や情景、人物の心情を述べる

この作品の魅力は、
「……」によって、主人公の温かい人柄が描かれていることだ。

①で分析した内容

評論の観点

例

文体の特徴	語りかける口調に引き込まれる。
言葉の選び方や説明	たとえば豊富でイメージしやすい。
具体例根拠の示し方	数値が示してあり説得力がある。
論理の展開の仕方	反対意見もふまえてあり納得できる。

小説の実例

映画や音楽などの作品にも応用できるよ。

初め

ヘルマン・ヘッセの「少年の日の思い出」は、「僕」の少年時代のやるせない思いを描いた作品である。

作品について簡潔に紹介している。

中(なが)

「僕」が「話すのも恥ずかしいことだが」と切り出し、回想するかたちで思い出が語られている。この構成によって、「僕」の苦しみは少年当時のものだけではなく、大人になった今までも彼の心を痛め続けていたということが伝わってくる。

具体的表現を引用しながら、それがどのような効果を引き出しているのかを説明している。

終わり

回想という形式の工夫によって、「僕」のやるせない複雑な心情までも実感豊かに描き出していることが、この作品のすばらしさである。

中(なが)の内容を受けて、作品の価値についてまとめられている。

初め

この文章は手紙の利点を述べている。筆者自身の体験を根拠としており、それが身近であり誰でも想像できることなので説得力がある。たとえば、「……(中略)……」という内容だ。また、電話やメールとの比較で……(略)……

終わり

このように根拠がわかりやすく、また比較が効果的であるため、主張が明確に伝わる文章である。

根拠の示し方について、具体的な表現を引用しながら説得力を評価している。

テーマ例と分析の観点(芸術作品)

映画・アニメ

音楽・舞台設計 風景やサウンドが人物の心情とマッチしている。

構成・カメラワーク

後半に行くにつれて展開が加速し、画面も迫力を増す。

配役

俳優の初々しさがさわやかな世界を……

主題

働くことの意義を問うかける。

音楽

歌詞・構成・強弱・リズム・テーマなど 歌手の歌い方、ヒットの背景など

比較が効果的!

表現の工夫や効果を考えるときには、そうではない場合を想像して比べてみるのもコツ。

・ 回想がなかったら何が描けなかったか?
・ この具体例がなかったら、何が伝わらなかったのか

もし三匹のごぶたが二匹のごぶただったら……



分析から評価へ(評価の基準)

受け手(読む人・見る人)に何がどのように伝わるか
どのような影響を及ぼすか

巧みな配役によって、働くことの意義を……として多くの世代に問うた。